

■経過

- ・ 関西地方都市のスタートアップ・イノベーション分野の活性化と自治体連携を目的として、2/9に公益社団法人 関西経済連合会（関経連）が来庁。
⇒イノベーション集積拠点やスタートアップ施策に関して意見交換。
- ・ 2/19に、関経連が産総研（国立研究法人産業技術総合研究所）と共同拠点を設置するイノベーション拠点「JAMBASE（グラングリーン大阪内）」を視察。
⇒本市との具体的な連携協力を前提とした協定締結の打診をいただく。



<協定締結によるメリット>

- ① 関西の経済界における本市の認知度向上
⇒イノベーション集積拠点創出に向けた機運醸成等に寄与
- ② 関西に拠点を有する企業・スタートアップとのネットワーク構築
- ③ 本市の実施するスタートアップ施策との連携・協力
- ④ JAMBASEを活用したイベント等の開催（無料）

関経連との連携により得られるメリットが大きく、デメリットはないことから、協定締結に向けて調整を進めていきたい。
(協定が締結できた場合、県内初となります)



■協定内容

- 協定名
草津市と関西経済連合会のイノベーション創出に資する連携協力に関する協定書
- 第1条（目的）
- 第2条（協力事項等）
⇒ イノベーション分野での連携に関する項目を記載（2ページ参照）
- 第3条（経費等）
- 第4条（協定期間）
- 第5条（協議）

■今後のスケジュール

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| 3月25日（火） | 理事者説明 |
| 3月27日（金） | 部長会議（重要報告） |
| 3月末（予定） | 議会報告（資料提供）
記者提供（関経連と共同リリース） |
| 4月17日（金） | JAMBASE施設見学（グラングリーン大阪内）
締結式、意見交換 |

■締結式当日の流れ（予定）

- | | |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:00～10:45 | JAMBASE施設説明・見学 |
| 11:00～11:15 | 関経連 井上 亮 副会長 顔合わせ（挨拶）
(オリックス㈱ 取締役 兼 代表執行役会長) |
| 11:15～13:00 | 締結式（JAMBASE内）
①草津市長挨拶
②関経連副会長挨拶
③各団体の取組紹介（5分×2者）
④協定書への署名
⑤記者対応
意見交換会 |

(※) 関経連に各種調整をお願いしており、多少変更が生じる場合があります。



【JAMBASE】

<所在地>
大阪市北区（グラングリーン大阪内）

<設備>
レンタルオフィス（92区画）
コワーキングスペース
サロン（交流スペース）
共用スペース（ラウンジ、会議室、
バーカウンター、キッチン、屋上
庭園）

写真：サロン（交流スペース）

(公社) 関西経済連合会との連携協定の締結について

■協定内容 (詳細)

協定名

草津市と関西経済連合会のイノベーション創出に資する連携協力に関する協定書

第1条 (目的)

本市による地域に根差したスタートアップの創出・成長・集積および企業の連携・共創による活力ある持続可能な地域社会の形成を図ることを目的とする。

第2条 (協力事項等)

- (1) 地域と企業の連携・共創による特色あるイノベーションの創出に関する事項
- (2) スタートアップ支援および企業ネットワークの構築に関する事項
- (3) 社会課題の解決および地域経済の活性化に関する事項
- (4) その他前条の目的を達成するために甲乙が必要と認める事項

第3条 (経費等)

連携のために必要な経費は甲乙協議のうえ決定

第4条 (協定期間)

締結日から令和12年3月31日まで
⇒ 関経連の長期ビジョン「関西ビジョン2030」の期間と整合
(必要に応じて期間延長は可能とのこと)

第5条 (協議)

協定に定めのない事項に関する扱い (甲乙協議)

【想定される取組案】

(1) 関連

- ・イノベーション集積拠点に関する関経連との連携
- ・集積拠点に関するニーズ調査への協力 (関経連会員・JAMBASE会員など)
- ・市 (立命館大学) と関経連の共催イベントの開催 など

(2) 関連

- ・市内スタートアップに対する支援の協力 (経営者とのマッチングなど)
- ・学生等を対象としたアントレプレナーシップ教育の実施
- ・関経連会員企業との関係構築に向けた交流の場の創出 など

(3) 関連

- ・別途検討予定

※ 協定締結後、具体的な取組の実現に向けた企画検討を行います。

■協定締結者 (相手方) が関経連 井上副会長の理由

- ①井上副会長は、連携目的である「イノベーション創出」を推進する担当委員会である「**スタートアップ・エコシステム委員会 (※)**」**担当副会長**である。(関経連の副会長は計17名)
- ②**JAMBASEを含むグラングリーン大阪開発事業者 (JV9者) として、オリックス株 (グループ会社：オリックス不動産株) が参画している。**



上記理由から、**井上副会長が協定締結者 (相手方)** となっています。
(舞鶴市・兵庫県 (丹波地域) との締結時も副会長が署名)

(※) スタートアップ・エコシステム委員会について

うめきたやけいはんな等オール関西でのスタートアップ支援拠点の連携や、大企業とスタートアップとの協業・オープンイノベーションの推進に向けた取り組み関西各地のイノベーション創出に向けた取り組みのサポートする。

7本の矢

～関経連の取り組みの方向性～

(参考) 関経連 関西ビジョン2030



1 アジアをはじめとする 世界との双方向のつながりの強化

- ◆「アジア・ビジネス創出プラットフォーム (ABCプラットフォーム)」推進
- ◆世界における交流拠点としての機能強化
外国人視点での魅力向上・発信、
インバウンドの復活・拡大に向けた先駆的な取り組みの提案

3 道州制実現につながる 地方分権・広域行政の促進

- ◆関西広域連合の機能強化に向けた取り組み
広域の視点で実施すべき施策に必要な権限・財源の大胆な移譲に向けた提案
- ◆道州制を含む分権・分散型社会に向けた働きかけ

5 多様な人材が能力を 最大限発揮できる環境整備

- ◆活躍の場を求めるヒトを惹きつけ育むNo.1地域に向けた実践
企業を舞台に活躍したいヒト (まずは女性・留学生)、
さまざまな分野で世界に先駆けるヒト (起業家、トップアスリート、アカデミアなど)、
一つの組織にとらわれない・雇用によらない働き方を選択するヒト
- ◆雇用の多様性と流動性の向上に向けた取り組み
企業の雇用制度・大学教育のあり方、各法制度などに関する先駆的な課題提起

7 プロジェクトDX in 関西

- ◆地域としてのDX推進の諸方策をとりまとめたブループリントの策定
～「関西DX戦略2025」～

2 あっちこっち関西・ イノベーションプロジェクト

- ◆企業や大学などの枠を超えた協業や研究開発の活性化につながるイノベーション・エコシステムの構築
- ◆関西各地におけるイノベーション創出や社会課題の解決に向けた多様な主体による混じり合い・協業を促す仕組みづくり

4 三方よしにもとづく 「民の力」を効果的に発揮する仕組みづくり

- ◆多様なステークホルダーを意識した新たな時代における企業が果たすべき役割のあり方を浸透させるための仕組みの提唱
- ◆行政などと企業の連携強化に向けた取り組み
テーマ例：地方の活性化や自然災害・感染症への対策など各社会課題、
エネルギー・地球環境問題

6 心身ともに健やかになる 活力ある地域づくり

- ◆健康・医療分野におけるデータ利活用の推進
- ◆スポーツ先進地域に向けた取り組み
「する」「みる」「ささえる」スポーツの活性化、
ワールドマスターズゲームズ2027関西のレガシーを創出・継承する仕組みづくり
- ◆文化の継承・発展に向けた取り組み、
豊かな人生につながる学びの場の創出に向けた検討